

令和2年度 研究活動報告書

(1) 活動報告

支部名 地区名	山形	市町村	
月 日	場 所	活動内容	
5月 29日(金)	【紙上報告】	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の活動日程 ・グループ編成、研修内容 ・昨年度会計決算と今年度の予算 ・新規採用支援体制 ・研究協議会について 支部総会「昨年度事業報告と決算、今年度事業計画と予算」	
9月 16日(水)	霞城公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の日程、会場確認 ・グループ研修内容確認 ・県協議会専門部報告 ・支部研修会について ・グループ別研修 	
10月 28日(水)	山形国際 交流プラザ	第1回支部研修会 (Zoomとプロジェクターによる双方向の通信研修) 講師 明星大学 教育学部 教育学科 常勤講師 神林 寿幸 氏 演題 「過去と現在から学校・学校事務の将来を考える」	
11月 11日(水)	江南公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・支部研修会について ・県協議会理事、専門部報告 ・新採支援連絡会について ・市への要望事項について ・学校集金について ・グループ研修 	
1月 13日(水)	江南公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・支部研修会について ・県協議会理事会報告 ・新採支援連絡会報告 ・市への要望事項報告 第2回支部研修会 講師 村山教育事務所 総務課課長補佐 阿部 雅人 氏 内容 <ul style="list-style-type: none"> ・退職手当について ・多学年手当について ・旅費取り扱いについて ・給与、旅費質問要望事項について 	

(2) 研究のまとめ

< 1 > 山形市教育研究会

山形市は、3年間で1サイクルにし4グループに分かれて研究活動を行っている。今年度は、1年目の年だったが、部会が9月からの開催となり、研究を行う時間が例年より少なく、思うように活動ができなかった。しかし、その少ない回数時間の中でも、「事務改善を考える」を研究の柱としているグループ2では、業務上の改善点を市教育委員会へ提案し、回答をいただき事務改善に繋げることができた。

各グループとも、今年度の研究の柱を引き続き来年度のテーマとして研究をしていく。

< 2 > 山形支部研修会

第1回支部研修会

Zoomとプロジェクターによる双方向の通信研修を行った。新しい試みでの研修会だったが、事前に機材動作テスト通信を行い、当日は不具合もなくスムーズに研修を行うことができた。

「過去と現在から 学校・学校事務の将来を考える」というテーマのもと「過去と向き合うことの意義」「学校教育をとりまく社会の変化と教職員の变化」「学校事務の共同実施について考える」と3つの内容についてお話しいただいた。

研修会後の会員のアンケートには、講演内容も、分かりやすくよかったという意見が多数をしめ、コロナ禍でZoomによる研修を経験できたことを喜んでいる声も聞かれた。研修会の企画として、私たち自身も大変勉強になった。

第2回支部研修会

毎年行われていた村山教育事務所主催の「村山管内学校事務連絡会議」が中止となったため、事前に質問や要望を提出し、回答をいただく研修を行った。

退職手当については、教職員課で作成する退職手当支給調書を支給内申の手続きに使用するなどの変更点や留意事項にそって確認を行った。支給調書に訂正が必要な場合はすぐに連絡し再度作成してもらうこと、履歴書は特に調整数が整合しているか確認すること、提出の際の書類の綴り方についても履歴書を含めすべてホッチキス止めはしないこと等の注意点もお聞きし、今後の事務手続きに大変役に立つものになった。その他、別枠旅費は早めの入力を心がけてほしいこと、多学年手当は授業時間数や支給日について支給要件を満たすかどうか確認してほしいこと、修学旅行の旅費の請求について旅行後の手計算精算払いを考えていることなど直接お聞きし、教育事務所を身近に感じることもできた研修会になった。

(3) 研究資料及び発行物一名称を記入して下さい